

特集 愛飲者インタビュー

モリンガオイルは 万能オイル 保湿から筋肉疲労まで 我が家の常備薬

日本SOD研究会報

神奈川県川崎市にお住まいの菊池素子さん(67歳)

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協力：株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

今回の愛飲者インタビューは、最近モリンガオイルにはまっているという菊池素子さんです。現在はご主人と二人暮らし。お子さんたちはとくに独立し、3人のお孫さんまでいるとか。月に一回くらいゴルフを楽しみ、普段はジムでZUMBA(スポーツジムの踊りを取り入れたエクササイズ)に夢中。とても活動的な奥様です。そんな素子さんが、あまり知名度のないモリンガにはまったわけは、世界三大伝統医学と言われるインドのアーユルヴェーダのオイルがきっかけでした。

「主人が仕事の関係でインドに出張することが多かったんです。そのとき現地の方にインドのお土産はなにがいいか聞いたところ、アーユルヴェーダのオイルが人気だと言われて、買ってきてくれたんです。そのオイルがすごくいい香りで、肌につけると、さらっとしているのに潤う

んです。お風呂に数滴垂らして入ると、気分も落ち着くし、肌もしっとり。すぐに気に入りました」

ちょうど更年期真っ只中だった素子さん。イライラすることが多かったとか。同時に肌の状態も変化して、従来の化粧品が全く合わなくなったといいます。

「保湿成分が足りなくなっているからと、エステで勧められた保湿成分たっぷりという美容液などいろいろ試したんですが、どれも帯に短し、たすきに長し、なんです。40代で使っていたの



は潤いが足りず、かといって高齢者向けの化粧品はべたつきすぎて気持ち悪かった。そんなときにアーユルヴェーダのオイルがしつくりときたんです」

ようやく自分に合うものに出会った素子さん、ご主人の出張のたびにオイルを買ってきてもらっていたそうです。初めは身体だけに使っていたのですが、そのうちに髪、顔にも使うようになり、さくらこ

「5、6年前のこと、仲間と1週間のゴルフ合宿をしたことがあったんです。みなさん毎年やっている合宿らしく、すごく上手な方ばかりの中にあまりうまくない私と友人はその時初めて参加したんです。そうしたら、3日目くらいから筋肉痛と疲労でへとへとになり、ギブアップしようかと友人と話していたんです。その日の夜でした。ふと持参していたアーユルヴェーダオイルのことを思い出したんです。インドではマッサージに使うと

多少の風邪や筋肉痛などは治ると言うのを聞いていたので、これで背中や足のマッサージをしたら少しは楽になるかもと思ったんです。それで友人とオイルをたっぷり使って互いにマッサージをしたら、翌日、驚くほど身体がラクになっていた。おかげで合宿も無事乗り切ることができました。友人も一気にアーユルヴェーダオイルのファンになりましたね」



アーユルヴェーダのオイルが コロナ禍で入手不可に 代わってモリンガオイル

それくらい大のお気に入りオイルでしたが、数年前から手に入らなくなっていました。オイルが販売終了になってしまったのです。それだけなら、インドで似たような他のオイルを入手して試してみればいいのですが、そこにやってきたのが「コロナ禍という打撃」。

「主人の出張がすべてなくなってしまいました。つまりインドに行けなくなっただんです。もうがっかりなんてものじゃなかったです。残り少なくなっていくオイルをちよつとづつ使うしかなく、それもととうとうなくなり、他のオイルをいくつか買っては試してがっかりしていました」

そんなときに友人がこのSOD研究会の会報を持ってきたのです。メディカルハーブの記事が載っている会報(217



号)でした。モリンガオイルのことにも触れています。メインはメディカルハーブの話。

「モリンガというハーブの存在はサプリとして聞いたことはあったんです。最近話題になっていくけど、一体何に効果的なのかは知りませんでした。ところが



従来愛用していたインドのアーユルヴェーダオイル



現在愛用しているモリンガオイル

会報を拝読して、なにか感じるものがあつたんです。モリンガの底力を知りました。根、葉、茎、花、実、種、すべてが役に立つスーパーハーブなんですね。根っこがリウマチにいいということは、抽出したオイルも血行を促し、筋肉を和らげる効果があるということですよ。それってゴルフ合宿の筋肉痛や疲労が取れた原理と同じですよ。あと、酸化しにくくて、抗酸化力がある。さらに殺菌効果もあるとか。なによりもインドのアーユルヴェーダのオイルだという

ことが大きかったですね」
早速ネットで購入した素子さん。すぐにしつくりきたと言います。その使用方法是「本当はお風呂に毎日入れて入浴するといいのですが、私、週に4回はジムに行くので、お風呂はジムで済ませてしまおうですね。なので小分けにしてジムに持って行っています。お風呂上がりには全身に塗り、ついでに濡れたままの髪にもオイルを少量なじませます。そして次に顔です。まず化粧水をはたいて水分を入れ、次に美容液。最後に

モリンガオイルを手に取り、手のひら全体でなじませて顔全体につけます。これで終わり。これをやると翌朝のしっとり感がまったく違います。思うんですが、私たちくらいの年齢になると、本当にいいものを使わないとダメですね。若い頃のように放っておいても自浄する力なんかないんですから。筋肉痛はもちろん、ちょっとした擦り傷や火傷にもこのオイルを塗っていただきます。もはや我が家の常備薬みたいなものですね」

モリンガオイルを使い始めてまだ2ヶ月あまりの素子さんですが、実に多彩に使い分けているのに驚きました。と同時にこの会報のことも気に入っていた、これもネットに掲載しているバックナンバーもいくつかご覧になったとか。(日本SOD研究会 研究会会報(sod-jpn.org))

「特にSODには興味ありますね。今、腸活と活性酸素制御がいちばん気になっていることばなんです。だから、この会報を読んできて次はSODかなと思っっています。活性酸素を制御というのと、焙煎発酵されているというのがヒットしました。発酵、つまり腸活ですからね。次にお会いするときはSODについて語るかもしれませんよ」
次回が楽しみです。

長瀬先生の手記

ネネちゃんに学ぶ、 長生きするためのヒント

従来の抗がん剤治療から抗体医療へ
実際の症例を教えてください

長瀬雅之（ジェナー動物クリニック院長）

前号（220号）でお話を聞かせてくれた『動物用丹羽SOD様食品』の開発者のおひとり、長瀬雅之先生。今回は先生の患者さんで膀胱がんのわんちゃん
の症例を原稿にさせていただきました。
抗がん剤治療ではなく、
抗体医療による新しい治療法の
経緯と、情熱がわかる手記を寄
せていただきました。

ペットの世界に最新の がんと付き合い方が

誰もが「健康で長生きしたい」と願うことは当然のこと、自

分の最愛のペットにおいても、
おそらく同様に思われること
でしょう。確かに長生きするペッ
トが最近増えていると実感しま
すが、それでは「健康で長生き
するための条件」とは、果たし
てどういった場合に成立するの
でしょうか。今回、7歳から診
ている長生きネネちゃんに、そ
の秘訣について教えて頂き「健
康で長生き」するための医療の
あり方についても再度熟考して
みたいと思います。

ネネちゃんは、2003年5
月2日生まれの現在なんと19歳
です。一般的に小型犬の方が寿



ネネちゃん19歳。人間で言うと100歳を優に超える長寿です

命が長いとされていますが、ネネちゃんは中型犬（7歳時15.92kg、現在10.40kg）で、この定説を覆してくれました。16歳の2019年12月に移行上皮がん（膀胱がんの一種）の診断を受けるまでは、ノミ・アレルギー、2回の異食、高ALP血症といった生命の存続に直接関与しない疾患に罹患（病気など）にかかること）していました。ネネちゃんの犬生において、初めて命の危険にさらされたのは、ほとんどのイヌがまさに寿命を迎える16歳時だったのですが、ネネちゃん

は本症（膀胱がん）と上手く付き合いながら現在も寿命を延ばしています。すなわち、決して健康ではないけれどがんと共存を選び、いつまで続くか分からない犬生を飼い主と共に歩む姿に感銘を受け、是非「長生きの秘訣」を私なりに分析してみました。

1、穏やかであり続ける 犬生

一言で言えば、マイペースな犬生に尽きます。ネネちゃんは

滅多に鳴いたり吠えたりしません。また、わがままとは異なりですが、あまり我慢もしません。夜中であろつと、尿・便意を感じれば散歩を促すそうです。

自分の中での必要最低限を満たせば、それ以上の要求を望まないのです。このことは、様々なストレスによりステロイドを生・放出する副腎をむやみに使わないこと、しいては血糖、血圧、心拍、そして呼吸の急上昇を避け、自己の免疫システムにも影響を与えない秘訣なのでしょう。ネネちゃんが、今でも心循環器、呼吸器、そして腎臓が正常で、移行上皮がん(膀胱がんの一種)という大病と共存していることが理解できます。

2、からだに優しい医療を常に心がけている

現在の治療に至るまでは、動物へのヒト型抗PD-1抗体応用の歴史でもありました。膀胱がんが確定された17歳時には、副作用の少ない抗がん剤(シクロフォスファミド・エンドキサン)およびピロキシカムといった従来の治療に終始しました。その

後、抗がん剤の投与を中止し、ラパチニブ(タイケルブ錠)(注1参照)、インターナチュラル、そして丹羽先生開発のH-TT(注2参照)に変更したものの、生薬投与が困難となりラパチニブ単独投与となりました。

血尿は依然止まらず、脾臓、

肝臓への転移も確認され、絶望感を抱いていたところ、ヒト型抗PD-1抗体のアベルマブ(バベンチオ点滴静注)の使用許可を頂きました。約半年間のアベルマブとラパチニブ投与を続けましたが、転移巣は消失しませんでした。山口大学の水野先生からは、「ア



嫌がらずに「抗PD-L1抗体のアテゾリズマブ」の点滴を受けるネネちゃん

ベルマブが認識する部位(エピトープ)がヒトとイヌでは異なるのでは？」とアドバイスを頂きました。また落胆していた矢先に、念願の抗PD-1抗体のアテゾリズマブの使用許可を頂いたのです。

現在の治療

は、アテゾリズマブ(テセントリク点滴静注

会報220号参照)、ベサフィブラート(ベサフィブラートSR錠(注3参照)、ミヤBM錠(注4参照)、トセラニブ(パラディア(注5参照)、ピロキシカム(バキソカプセル(注6参照)であり、副作用はみられません。

ネネちゃんが膀胱がんを発症して2年5ヶ月が経過しました。決してがんが治った訳ではありません。膀胱から尿道への原発巣はエコーで確認できます。しかし、リンパ節、脾臓、肝臓に転移したがん細胞はほぼ死滅しました。

すなわち、血尿は止まらず、明らかな転移もみられ、絶望時にも関わらず、ネネちゃんはいつも通りマイペースで日常を過ごし、ついにはイヌに有効なヒト型抗PD-1抗体へと導く強運なワンコであり、この強運も長寿の秘訣であったのです。

今もネネちゃんは歩いて元気に来院しています。高齢であること、QOL(クオリティオ

ブライフ)の維持を希望されたことから、外科処置は実施していません。

3、食事はバランス良くアラカルトで

ネネちゃんはノミ・アレルギーに罹患してから、手作り食以外食べていません。良質でちょっとり高級な肉と魚が大好物で、炭水化物は食べやすいことから芋類・麺類、そしてシソ油等の良質なω-3系植物油を使った手作り食です。ただし、やはり食べやすさから、これらの食材をアラカルトにする必要があるそうです。



手作り食の最大のメリットは、

酸化物質や添加物をほとんど含有しないことに尽きるでしょう。

ネネちゃんは12年間手作り食を続けていますから、酸化および添加物によるストレスが極めて少ない綺麗な身体であり続けることが長寿、様々な治療に対する良好な反応を示すものと考えています。

そして前号でも触れたとおり、動物用丹羽SOD様食品は必須です。SODがどんな疾病治療にとっても基盤を作る、すごく大事なものだと思います。SODを飲むということ、つまり活性酸素を除去することは、遺伝子を守ることであり、生きるための必須条件だと思うんです。酸素を吸わないで生きていくのなりたいですが、そういうわけにはいかないのですから。動物用丹羽SOD様食品は体重1kgに対して0.7gですから、現在10kgあまりのネネちゃんは1包3.5gの動物用丹羽SOD様

食品を1日2包食べています。

4、心臓、腎臓、血管系が丈夫

遺伝的素因を完全に克服して、未病であり続けることは今のところ困難です。最近では7、8歳頃に多くのチワワ犬で発症する心臓病が最もイメージしやすいと思います。恐らく、遺伝的素因に日々の生活様式による様々なストレスが重なってくる

と発症するのでしょう。ネネちゃんの場合、やはり遺伝的素因に逆らえず膀胱がんという大病に罹患しましたが、心臓や腎臓といった血管系が思いのほか丈夫で、この丈夫さも長寿と各種治療を容認できる秘訣だと痛感します。患者さまを診察して気付くことは、心臓や腎臓といった血管系の丈夫な動物は長寿である傾向がみられます。

5、飼い主さまと主治医の意思疎通が円滑

日常の診療において、最も大切なのは意思疎通の円滑さです。会話の上では円滑と感じたとしても、飼い主さまは本音を伝えられずに来院されなくなるケースが残念ながら存在します。恐らく、担当した獣医師との相性、診察室や病院内の雰囲気、治療指針、そして治療費などトータルに加味した結論なのでしょう。飼い主さまとの意思疎通を円滑にすることは、動物の命やその後の運命を左右するとても重要な仕事であると同時に、意外に大変で時間がかかる仕事でもあることを痛感しております。

ネネちゃんの飼い主さまは、ほかからかとても気さくな方です。12年間お付き合い頂いておりませんが、記憶の限りではトラブルはなく、日々進行する症状・病状と、それらに対応する進化を続ける医療について十分話し

合って方針を決定しています。治療費も大きな負担だったにも関わらず、主治医の方針をご理解頂き、実践できたのも飼い主さまとの意思疎通が円滑になされた結果であり、ネネちゃんの長寿に貢献出来た秘訣でもあります。

「長生きの秘訣」をネネちゃんに学んできました。体質、遺伝的要因、生活様式、飼い主さまの有り余る愛情、そして強運に守られたネネちゃんは、「健康ではないけど長生きの条件」を兼ね備えたウルトラ・ワンコであり、我々獣医師は邪魔しないように手を差し伸べればいいのかもありませんね。最後に、貴重なアドバイスを頂いた京都大学の本庶先生、山口大学の水野先生にお礼申し上げます。

注1 ラパチニブ

分子標的治療薬の部類に入るがん治療薬。がん細胞の増殖過程における指令系統を分子レベ

ルでブロックする。

注2 H-I-T

丹羽先生と林進徳漢方医の共同開発による天然の植物や種子を使用した制がん剤。茯苓、牛黄、大黄、檳榔、ハーペーゴ、食滑石などを独自の製法で加工した生薬。丹羽療法では多くのがん患者さんに処方されている。

注3 ベサファイブラート

高脂血症改善薬

注4 ミヤBM錠

酪酸菌(宮入菌)によって腸内細菌のバランスを改善させる。

注5 トセラニブ

分子標的治療薬の部類に入るがん治療薬。

注6 ピロキシカム

非ステロイド系抗炎症薬。

なお、これらの脚注は編集部のほうで薬事典などを参照のう

え書き加えたものです。

※前号(会報220号)長瀬先生のインタビュの内容に一部誤りがありましたことをお詫び訂正申し上げます。

文中にBCGワクチンを使用しているとありましたが、厳密には人間のBCGワクチンではなく、結核菌をもとに作られた薬剤である「アンサー」という、別の薬剤を使用しています。

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都 世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802

日本SOD研究会 宮城宛
TEL 03-5787-3498

までご一報下さい。

当研究会の許可なく、すべてのテキスト、画像等の転載、複製、転用を固く禁じます。また、まとめサイト、ブログ等への引用を厳禁いたします。

◆丹羽療法の診察をご希望の方は、ご紹介、ご予約いたします。

(自由診療となります)

※現在、丹羽先生の診察は新型コロナウイルス感染症対策の為、お休みになることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所

☎ 0120(731)175

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐丹羽クリニック院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。

「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある